



# CADEP SFM ニュース

持続的森林管理のための能力開発プロジェクト - ケニア

2017年12月-No.6

プロジェクト全体

今回のニュース

森林政策

パイロット事業

REDD+

育種

地域協力

\*各活動の連携については、プロジェクトの展望図をご参照ください。

## PMU 会議と JCC 会議の開催 (2017 年 11 月、12 月)

ケニア国持続的森林管理のための能力開発プロジェクト (CADEP-SFM) は、5 つのコンポーネントから構成されています。このため、コンポーネント間の調整等を図るためにプロジェクトマネジメントユニット (Project Management Unit ; PMU) を設置して定期的に会議を開催しています。これまでに 4 回の会議を開催してコンポーネント間の進捗確認、情報共有を行ってきました。今回 (第 5 回) は合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee ; JCC) の開催に向けて 11 月 27 日 (月) に各コンポーネントマネージャー等が集まり、活動の進捗と今後の計画、そして JCC に向けての準備について議論、確認を行いました。コンポーネントの関係者が環境天然資源省、ケニア森林公社 (KFS)、ケニア森林研究所 (KEFRI)、エンブとタイタタベタのカウンティ政府と多岐に亘るため、PMU が良い情報共有、意見交換の場になっています。今回もカウンターパートの方から、各コンポーネントがどう連携していくのかを議論するワークショップなど建設的な提案がありました。

プロジェクトでは年に 1 回合同調整委員会 (JCC) を開催してメンバーに活動の進捗、年間活動計画の説明等を行っています。第 2 回となる今回の主要議題は、今年 7 月から前林木育種プロジェクト (2012 年 7 月から 2017 年 7 月まで) を引継いでコンポーネント 4 となる林木育種の全体計画 (4 年間) の説明です。これまでの林木育種の成果として半乾燥地における有用樹種である *Melia volkensii* (メリア) のプラス候補木の選抜と採種園の造成、そして次代検定林による調査結果等が説明されるとともに、それらの成果をどう発展、展開させていくかという今後 4 年間の説明がなされました。特に、メリアの成果については、まだ 1 年間の調査結果ではありますが、選抜されたプラス候補木の中で上位の候補木は成長量 (材積) が平均を 17% も上回っているという報告がありました。今後のメリアの育種

効果が期待されます。

また、JCC では、各コンポーネントの進捗報告と年間活動計画、それに合わせて Project Design Matrix (PDM) と Plan of Operation (PO) の修正の説明がなされ、それぞれ承認されました。

今後、次期活動計画を踏まえて着実な活動を実施していく予定です。



PMU 会議でのプレゼン



JCC 会議の様子